第3期 美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）

自然と笑顔が輝くまち　美作市

H27 (2015)	R1 (2019)	R2 (2020)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	（参考） (2030)	（参考） (2035)	目標人口 (2040)
29,604人	27,604人	27,194人	25,235人	24,643人	24,004人				23,001人	21,715人	21,000人
第１期		第２期		第3期総合戦略							※社人研推計値 18,234人

政策分野		基本目標			R5実績
A	仕事をつくる	新規雇用の創出	300人	期間合計	51人
B	人の流れをつくる	転入超過数	50人	期間合計	▲48人
C	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育てサポートの満足度	70%	期間終了時点	－
D	魅力的なまちをつくる	住み続けたいと思う市民の割合	70%	期間終了時点	62.6%（R6）

政策分野		具体的施策	主に実施する施策内容	KPI
A	1	持続可能な農業経営の推進	・都市圏での就農セミナー開催や移住定住部門との連携による新規就農者の確保 ・農業アドバイザーとの連携や販売拠点（彩菜茶屋等）の充実による農産物の販路拡大 ・広域活動組織の強化による農地保全の推進（多面的機能支払・中山間地域等直接支払事業）	新規就農者数 25人 （期間合計）
A	2	持続可能な森林経営の推進	・各種奨励金による就林者の確保と、条例に基づく山林寄附の受付や協働の森づくり ・未利用資源を活用した次世代素材の研究開発に向けた素材供給 ・狩猟免許取得支援を通じた有害鳥獣の捕獲効率向上と、獣肉（ジビエ）供給体制の構築	新規就林者数 18人 （期間合計）
A	3	企業の内発的発展の展開推進による企業支援	・若者の定住・就業を促進するため、新規学卒者等に対する「就職奨励金」の創設を検討 ・大規模な事業投資に対する補助金制度を構築し、企業立地・誘致を促進 ・「えるぼし」「くるみん」などの優良事業所認定の取得を推進し、労働環境の向上と人材確保を支援	新たな雇用者数 500人 （期間合計）
A	4	外国人材の受入（ベトナム等交流事業）	・海外協定先等と連携した外国人材の確保と、居住確保を含めた受入環境の整備 ・多言語（やさしい日本語等）による情報発信や相談対応、日本語教室の充実による生活支援 ・多文化共生に向けた新たな民間国際交流団体の設置検討	外国人登録者 1,000人 （期間終了時点）
A	5	人材還流・地方定着に対する事業	・市内企業へのインターンシップを支援するため補助制度の創設を検討 ・奨学金返還支援事業を実施	市外からの就職者 60人 （期間合計）
A	6	新規創業などに伴う地域活力の創生	・市内での起業、既存企業の第二創業、競争力強化等を促進するための補助制度の創設 ・市の産業基盤の強靭化に資する事業への支援（産業基盤強靭化基金）	新規創業出店数 20件 （期間合計）
A	7	店舗等経営後継者の育成	・店舗等の後継者の育成、事業承継を後押しする制度の創設を検討 ・地域おこし協力隊・継業バンク制度による事業承継	事業継承店舗数 50店舗 （期間合計）
B	1	移住定住の促進	・移住定住へのフォローアップ対応 ・住宅希望者のニーズにマッチしたみまさか移住定住住宅補助金制度 ・新婚夫婦に対し給付金を支給 ・魅力ある住宅地の供給、定住促進住宅の活用	補助金活用転入者 300人 （期間合計）
B	2	持続可能な観光地域づくり	・みまさか観光局による持続可能な観光地域づくり ・観光資源の商品化と磨き上げ ・文化財活用による観光振興	市内観光客数 1,200,000人 （期間終了時点）
B	3	スポーツツーリズム推進とクラブチーム支援による地域活性化	・「美作ラグビー・サッカー場」や「宮本武蔵顕彰武蔵武道館」等のスポーツ資源を活かし、大会や合宿等を誘致しスポーツツーリズムを推進 ・自衛隊体育学校及び陸上自衛隊輸送学校との関係性 ・市を活動拠点とするクラブチームの支援	合宿等交流人数 15,000人 （期間合計）
B	4	林野高等学校の存続に向けて	・小中学校との連携強化、定住促進住宅等を活用した居住支援による生徒獲得 ・IPA（情報処理推進機構）や市との連携協定に基づく、次世代を担う地域情報人材の育成モデル構築 ・林野高校を「地域の学びの拠点」とし、官民連携での探究活動を通じた地域活性化	市内中学生進学率 40%以上 （期間終了時点）

政策分野		具体的施策	主に実施する施策内容	KPI
B	5	私立高等学校・看護師等養成専修学校等との連携	・美作市スポーツ医療看護専門学校との連携（就職連携、三県境地域創生会議の取組、外国人看護師、介護士等の研修受入れの調査研究） ・若者移住定住促進給付金事業 ・BELLE FOOTBALL ACADEMY MIMASAKAの開設	生徒の転入者数 600人 （期間合計）
B	6	「ニートや引きこもり」の自立支援組織の活動	・NPO法人が実施している「ニートや引きこもり」の自立支援活動を支援	就業人数 25人 （期間合計）
C	1	女性や子育て世帯から選ばれるまちづくり（出産・子育て施策の充実）	・不妊治療費や初回産科受診の助成、「家事応援サポート」等の産前産後ケアを通じた、妊娠・出産期からの手厚い支援 ・「ひとり親世帯」への支援や、乳児・高校生年代への給付による経済的負担の軽減 ・待機児童ゼロの継続や放課後児童クラブの環境整備、防災公園、アーバンスポーツ施設等の充実	就学前乳幼児の転入超過数 20人 （期間合計）
C	2	結婚に向けた支援	・出会いの場の提供 ・結婚に対する機運の醸成 ・結婚に向けて必要となる知識などの提供	婚姻件数 500件 （期間合計）
C	3	地域連携による学校づくり	・全小中学校にコミュニティ・スクールを設置 ・部活動の地域展開について「美作市地域クラブ（仮称）」を設置	コミュニティ・スクール数 全校 （期間終了時点）
C	4	長期欠席・不登校への対応（学びの多様化学校整備事業）	・美作市青少年サポートセンターを新設し、学校に行きづらさを感じている児童・生徒への教育相談・教育支援体制を強化 ・学びの多様化学校「樸学園」を開校し、不登校支援と将来の単独校化を視野に運営する。	不登校出現率 0% （期間終了時点）
D	1	持続可能な地域社会の実現	・巡回普及員等を配置し集落の実態・課題の把握検討を実施 ・地域生活に必要不可欠な民間事業を防衛 ・美作岡山道路の早期開通と北部延伸 ・持続可能なまちづくりに向けた都市計画エリアの再開発 ・若者の活躍の場の創出	転出者の減少数 50人 （期間終了時点）
D	2	公共交通のリデザイン	・ライドシェアの運用やAIによる予約システムの導入への取組 ・タクシー利用補助制度により免許証の返納後の移動を支援	ﾀｸｼｰ活用路線 15路線 （期間終了時点）
D	3	生涯活躍のまちの推進（ヘルスケア（健康寿命延伸）の推進）	・地域フレイル予防事業の実施 ・もち麦の摂取普及（レシピ開発、PR展開等） ・美作てくてく健康アプリの普及	アプリ登録者数 3,000人 （期間終了時点）
D	4	重層的支援体制整備事業	・「地域共生社会」の実現に向けて、制度分野ごとの縦割りを解消し、とりこぼしのない支援を推進するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3支援を一体的に実施 ・あらゆる課題を抱える全ての市民を対象とした、本人に寄り添い伴走する支援を実施	支援対象者満足度 7.0 （期間終了時点）
D	5	脱炭素社会形成の推進	・公共施設へのPPA事業を活用した導入や民間施設への導入促進 ・未利用資源の高付加価値化（非木材利用）を目指し、木材由来の次世代素材の研究開発に対する素材供給を推進する。 ・湯郷温泉街における脱炭素化と観光の融和を目指した検討	温室効果ガス排出量 45,000t−CO2 （期間終了時点）
D	6	美しい里山をつくり育てる事業	・美しい里山を目指していくために、さらに面積を拡大し整備を実施 ・新庁舎の建設による新たな中心的市街地の景観保全のため計画的な公園化を実施	都市公園面積 600ha （期間終了時点）
総合戦略の実効性を高めるための運営			・PDCAサイクルの推進　・国・岡山県との協調 ・金融機関との連携　・高等教育機関などとの連携 ・財源確保	